

学校給食ニュース編集責任者「牧下圭貴さんと学ぶ連続講座」のお誘い

～ 10年後の子どもたちにできること ～

2013年1月1日
全国学校給食を考える会

本来、子どもたちの健やかな成長を願って実施されるべき学校給食ですが、現状では合理化による共同調理場・給食センター方式や調理業務の民間委託化等、学校給食の質の向上に反する施策が進んでいます。食材でいえば、農薬や食品添加物を排除できないまま、さらに遺伝子組み換え食品や放射線照射食品が学校給食をとおして子どもたちに忍び寄っています。また、3.11以降、子どもの内部被曝への不安は解消されていません。

そこで、学校給食に必要な基本事項について、定期的に学ぶ機会をつくりました。

学校給食の歴史に学び、食に関する知識を深め、次の世代に運動をつなげるために、学校給食ニュース編集責任者である牧下圭貴さんと学ぶ連続講座を開講しています。

第3回目は調布市での学校給食事故を受けて、近年の動向や過去の事故についてお話を伺います。



牧下圭貴さん

今回は、ゲストスピーカーとして、NPO 法人アトピzzi地球の子ネットワーク代表理事の吉澤淳さんにお越しいただき、「学校におけるアレルギー対応について、医師や患者が実践していること」について話をいただきます。その後、子ども、学校給食関係者、保護者、市民が共に、今後の学校給食アレルギー対応について意見交換会をします。

記

第3回：2013年2月9日(土)

10:00～12:30

テーマ「アレルギーと学校給食」

～ 調布の学校給食事故から考える ～

会場：大地を守る会 六本木会議室

東京都港区六本木6-8-15 第2 五月ビル3階

地下鉄日比谷線・大江戸線「六本木」出口3より徒歩5分

参加費：500円(資料代を含む)

主催(申込み・問合せ): 全国学校給食を考える会

Tel 03 3402 8902 Fax 03 3402 5590

E-mail kyushoku@member.daichi.or.jp

内容(案)

- 10:00～11:30 学習会「学校給食におけるアレルギー問題の動向と過去の事故について」
11:30～12:30 意見交換「食物アレルギーのある子どもの自立のために」

